



# 「小さいクルマ」社会での リーディングカンパニーをめざして

辰 巳 隆 英\*

We aim to become a leading company in the global small-car market.

Key Words : small-car, Compact, Engine, Environment problem

## 1. 会社概要

名 称：ダイハツ工業株式会社  
 英文名称：DAIHATSU MOTOR CO., LTD.  
 本社所在地：〒563-8651  
 大阪府池田市ダイハツ町1番1号

創 立：明治40年(1907年)3月  
 資 本 金：約284億円(1999年3月, 以下同)  
 売 上 高：約8,525億円  
 代 表 者：代表取締役社長 山田 隆哉  
 従 業 員：11,451名  
 事 業 内 容：自動車, 産業車両, その他各種車両  
 およびその部品の製造, 販売他

事 業 所：本社(大阪府池田市), 東京支社, 本社  
 (池田)工場, 滋賀(竜王)第1工場, 滋賀  
 (竜王)第2工場, 京都工場, 多田工場,  
 西宮部品センター, 海外3事務所  
 (図1 当社近畿地区の事業所配置)

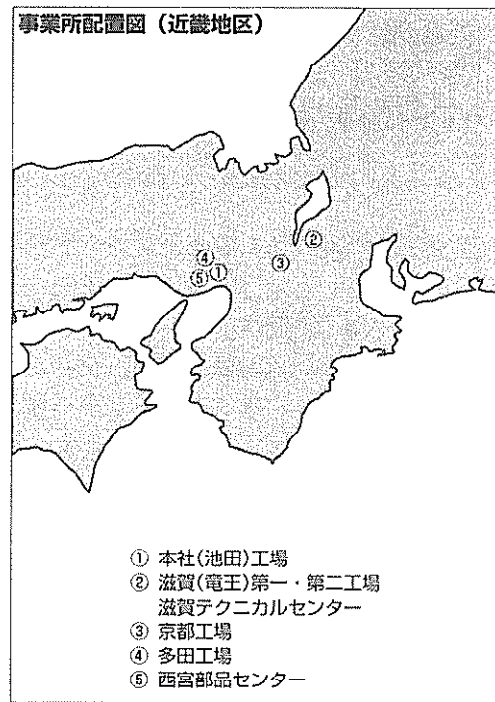


図1 近畿地区の事業所の配置

実 績：国内生産 802千台  
 (うち受託生産車150千台, OEM車38千台)

国内販売 529千台  
 輸 出 93千台  
 海外生産 136千台

## 2. 社名の由来

1907年3月に, 当時の大阪高等工業学校(現・大阪大学工学部)の校長 安永義章博士や実業家の岡實康らによって内燃機関の国産化をめざした「発動機製造(株)」を設立しました。その後, 1951年12月に社名を現在の「ダイハツ工業(株)」に改称しました。大阪の「大」と発動機の「発」とをとりダイハツと略称したのが, 社名の由来です。

## 3. 企業スローガン

当社には“コンパクト”という伝統があります。それは小さいクルマを, どこまで無駄がなく, 夢や

\* Takahide TATSUMI  
 1956年1月24日生  
 1982年大阪大学・大学院工学研究科・  
 金属材料工学専攻・博士前期課程修了  
 現在, ダイハツ工業(株)・パワートレー  
 ン部・第3エンジン室, 室長, 工学修士,  
 内燃機関工学  
 TEL 0727-54-3214  
 FAX 0727-54-3416  
 E-Mail Takahide\_Tatsumi@mail.  
 daihatsu.co.jp



表1 ダイハツ(滋賀第1工場)生産エンジン一覧

| エンジン種類                 | ガソリン  |     |                         |  | ディーゼル                |  |  |              |
|------------------------|---|-----|-------------------------|--|----------------------|--|--|--------------|
|                        | EF<br>EJ  | JB  | 1SZ *1                  | K3   | HC<br>HE<br>HD       | 4B *1<br>14B<br>15B  | 1KZ *1<br>1KD  |              |
| 総排気量<br>(cc)           | 660<br>1000   | 660 | 1000                    | 1300   | 1300<br>1500<br>1600 | 3700<br>4100   | 3000   |              |
| 気筒数                    | 3   | 4   | 4                       | 4  | 4                    | 4  | 4  |              |
| 搭載車両                   | ミラ<br>ムーヴ<br>オブティ<br>テリオスキッド<br>ネイキッド<br>ハイゼット<br>アトレ<br>ストーリー<br>YRV<br>デュエット *2 | ムーヴ | ウィッツ<br>プラッツ<br>(全車 *2) | ストーリー<br>テリオス<br>YRV<br>アトレ7<br>デュエット *2<br>キャミ *2<br>スパーキー *2 | ハイザー<br>他輸出車         | デルタ<br>タイチ *2<br>トヨエース *2<br>コースター *2<br>クイックデリバリー *2<br>メガクルーザー *2<br>デュトロ *3 | ランドクルーザー<br>ハイラックス<br>ハイエース<br>レジアス<br>グランビア<br>グラントハイエース<br>(全車 *2) |              |
| 1999年度<br>生産実績<br>(千台) | 542   | 37  | 324                     | 2000年3月<br>生産開始  | 55                   | 25   | 77   | (合計)<br>1060 |

\*1トヨタ自動車の受託生産 \*2トヨタ自動車 \*3日野自動車

実用性が詰まったものにできるかという挑戦の歴史です。

私たちを取り巻く道路環境や、これからの高齢化社会、エネルギーや地球環境の問題、アジア諸国をはじめとする世界のモータリゼーションの新しい流れなどを考えると、「コンパクト」こそが、今後のクルマ社会の発展に欠かせないキーワードだと確信しています。

21世紀に向けて、社会や地球にとって「重荷」にならないクルマを、それでいて、さまざまな個性を持ち、夢や満足をいっぱい乗せたクルマをつくりたい。そして同時に、魅力ある企業づくりにも、この「コンパクト」というコンセプトを活かしていきたい。

当社は「We do COMPACT.」を企業スローガンとして、気概と勇気と執念をもって可能性へのチャレンジを続けてまいります。

#### 4. クルマの心臓部

「小さいクルマ」造りにはその心臓部であるエンジンが重要となります。そのエンジンの開発・生産について以下に述べることにします。

当社の軽自動車用のエンジンはもちろんのこと、トヨタ自動車からの受託エンジンも開発・生産しています。当社滋賀第1工場(図2の滋賀工場全景の右上に位置しています。)で生産しているエンジンの一覧が表1です。1999年度('99/4~'00/3)の生産実

績では100万を超える台数を生産しています。その内にはトヨタ自動車からの受託エンジンを約43万台含まれています。

1998年10月の軽自動車規格改定以来、搭載するエンジンは新規開発または大きく改良を計ってきました。開発のねらいは「次世代スモールカーのリーディングエンジンとしてクラスを超えた諸性能を実現」です。環境問題を重要課題と認識し、「クリーンエミッションと低燃費」はもちろんのこと「クラスを超えた高性能」、「クラストップの静粛性」、「ダントツの高信頼性」を四つの柱として開発・生産しています。すべての面(AからZまで)でTOPを目指したエンジンということから「TOPAZ(トパーズ)」エンジンとネーミングしました。TOPAZには光り輝く(宝石)という意味も込めております。

軽自動車規格改定('98/10)に伴ったエンジンの開

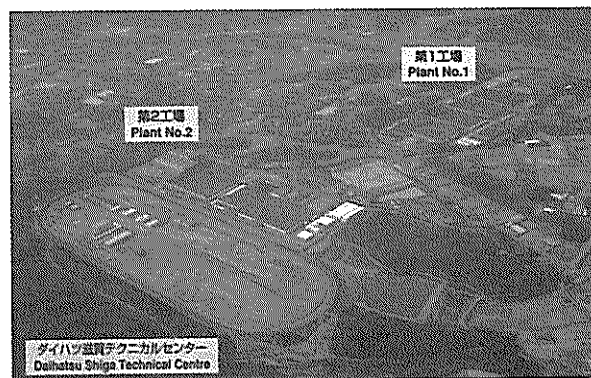


図2 滋賀工場全景(第1工場でエンジン生産)

発では、上記の開発コンセプトを織込むとともに、全てのお客様に満足して頂けるよう車種展開にあわせてエンジンバリエーションも拡大しました。専門的になりますが、FF正立横置、FR正立縦置、FRスラント縦置のすべてに対応、高性能4弁・普及型2弁エンジン、自然吸気・過給エンジンを同時に開発し、同一ラインでの生産で効率化しています。表1のEF型エンジンが当社の軽自動車用の主力エンジンで、月産約4万台の生産の実績を上げています。(図3：EF型エンジン組立ての様子)



図3 EF型エンジンの組立て

1999年1月にトヨタ自動車から発売された新型車両ヴィッツに搭載している1SZ型エンジンは当社との共同で開発され、当社で生産されています。このエンジンのプロジェクトは共同開発という当社にとって初めての開発形態であり、「短期開発」かつ「短期生準」および「万全の品質確保」の両立をめざしました。1SZ型エンジンはEngine Technology International 社主催のEngine expo 99において世界の強豪を抑え「1999年エンジン オブ ザ イヤー」に輝くなど世界的にも極めて高い評価を得ています。

1988年発売のHC型エンジン以来12年ぶりとなる小型車用エンジンがK3型エンジンです。このエンジンのカットモデルが図4です。軽自動車で培った技術力を見事に活かし、1.3Lエンジンとして誕生しました。1SZエンジンをベースとし、前述した四

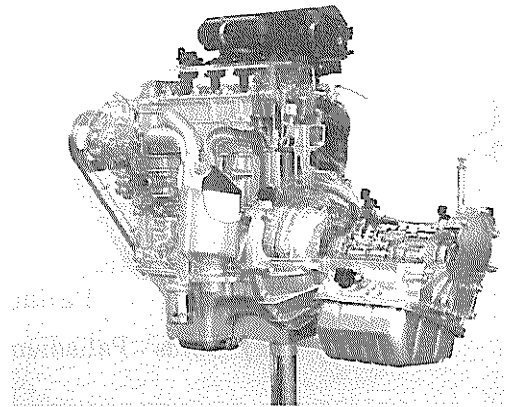


図4 K3型エンジンのカットモデル

つの柱である開発のねらいの踏襲しています。幅広い車種展開にあわせて豊富なエンジンバリエーションをもつのも軽自動車用エンジンと同様。さらに1SZ型とK3型エンジンは兄弟エンジンとして同一ラインで生産され、生産効率を上げています。

そのほかあまり知られておりませんが、ディーゼルエンジンも開発および生産しております。表1に示すようにB型、1KZ型、1KD型エンジンはトヨタ自動車の各種乗用車および貨物車に搭載されています。国内ではディーゼルエンジンの排出ガスの成分に対して厳しい逆風が吹いています。しかし地球温暖化問題を捉えたとき、エンジンから排出するCO<sub>2</sub>が低減できることでは重要なエンジンです。

## 5. おわりに

世界的に高まる環境への関心、社会の仕組みの変化、消費者の価値観の移り変わり、世の中の自動車に対するニーズは、いま確実にコンパクト化へと向かっています。ダイハツは軽自動車開発などで育てた技術と経験をベースに活動の改革に取り組み、「小さいクルマ」社会をリードしていきます。またダイハツが描く理想の企業像は、社会への貢献を原動力に、時代が求める新しい価値を創り出し、社会からの敬愛が得られる「魅力ある良心的企業」の姿です。その実現に向かって今後も邁進していきます。

